

騒音規制法・振動規制法に基づく届出が必要な特定建設作業と規制基準

特 定 建 設 作 業		基 準 値 (※)	作業してはならない 時 間 帯	超えてはならない 1日の作業時間数	超えてはならない 連続作業日数	作業日
くい打機、くい抜機又はくい打くい抜機（圧入式を除く）を使用する作業。（アースオーガーと併用する作業を除く）		騒音 8 5 デシベル 振動 7 5 デシベル	(1)の区 域 午後 7 時～翌日午前 7 時 (2)の区 域 午後 1 0 時～翌日午前 6 時	(1)の区 域 1 0 時間 (2)の区 域 1 4 時間	連 続 6 日	日曜日その他の 休日を除く日
さく岩機、ブレーカー（作業地点が連続的に移動する作業にあっては、1日における当該作業に係る2地点間の最大距離が50メートルを超えない作業に限る）を使用する作業。	手持ち式以外のもの					
		騒音 8 5 デシベル				
空気圧縮機（定格出力が15キロワット以上のもの）を使用する作業。（さく岩機の動力として使用する作業を除く）						
コンクリートプラント（混練容量が0.45立方メートル以上のもの）又はアスファルトプラント（混練重量が200キログラム以上のもの）を設けて行う作業。（モルタル製造作業を除く）						
びょう打機を使用する作業						
バックホウ（低騒音型等の環境大臣が指定するものを除き、定格出力が80キロワット以上のもの）を使用する作業。						
トラクターショベル（低騒音型等の環境大臣が指定するものを除き、定格出力が70キロワット以上のもの）を使用する作業。						
ブルドーザー（低騒音型等の環境大臣が指定するものを除き、定格出力が40キロワット以上のもの）を使用する作業。						
鋼球を使用して建築物その他の工作物を破壊する作業。						
舗装版破碎機（作業地点が連続的に移動する作業にあっては、1日における当該作業に係る2地点間の最大距離が50メートルを超えない作業に限る）を使用する作業。						

(※) 表中の騒音・振動の基準値は特定建設作業を行う場所の敷地境界での値です。

新潟市生活環境の保全等に関する条例に基づく届出が必要な指定建設作業と規制基準

指 定 建 設 作 業	基 準 値 (※)	作業してはならない 時 間 帯	超えてはならない 1日の作業時間数	超えてはならない 連続作業日数	作業日
ブルドーザー、トラクターショベル、ショベル系掘削機械又はクローラー式（キャタピラ式）建設機械を使用する作業。	騒音 8 5 デシベル 振動 7 5 デシベル	(1) の 区 域 午後 7 時～翌日午前 7 時	(1) の 区 域 1 0 時間	連 続 6 日	日曜日その他の 休日を除く日
コンクリートカッター（作業地点が連続的に移動する作業にあっては、1日における当該作業に係る2地点間の最大距離が50メートルを超えない作業に限る）を使用する作業。	騒音 8 5 デシベル	(2) の 区 域 午後 1 0 時～翌日午前 6 時	(2) の 区 域 1 4 時間		

(※) 表中の騒音・振動の基準値は指定建設作業を行う場所の敷地境界での値です。